



## 第 19 代札幌コンサートホール 専属オルガニスト

### マルタン・グレゴリウス

[Martin Gregorius](#)

### 就任のお知らせ

ポーランド出身

即興演奏を得意とする

期待の若手オルガニスト



©Bertrand PICHENE

### PROFILE

1991 年、ポーランド生まれ。グダニスク・スタニスワフ・モニューシュコ音楽アカデミー、デトモルト音楽大学、及びパリ国立高等音楽院、リヨン国立高等音楽院でオルガン、即興演奏、音楽理論、作曲、宗教音楽を学び、ミシェル・ブヴァール、ティエリー・エスケシュ、フランソワ・エスピナス、ファッサン・ラスロ、オリヴィエ・ラトリーらに師事。2017 年、イグナツィ・ヤン・パデレフスキ国立音楽アカデミーにてオルガン演奏の博士号を取得。

また、トン・コープマン、ミヒャエル・ラドウレスク、ルイ・ロビヤール、ヴォルフガング・ツェラーなど世界的な音楽家のマスタークラスを受講。

これまでに、ベルサイユ宮殿王室礼拝堂をはじめヨーロッパ各国でコンサートを行ったほか、北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとするさまざまなオーケストラや演奏家と共演。教育活動にも熱心に取り組んでいる。また、ドイツ、ポーランドにおいて教会オルガニストを歴任する。

2016 年、シュレーゲル国際オルガン即興コンクール第 1 位、同年ヴェストファーレンインプロ 6 第 1 位及び観客賞ほか、ドイツ、イタリア、ルクセンブルク、ポーランドをはじめとするヨーロッパ各国のコンクールで優秀な成績を修めている。また、12 年には故郷ポーランドにおいて、若手アーティストに贈られる aretNoble 賞をグダニスク市長より授与された。

2017 年 9 月、第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

10/7 (土)

第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニスト

マルタン・グレゴリウス [デビューリサイタル](#)

13:30 開場

J.S. バッハ：パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582

14:00 開演

M. グレゴリウス：即興による舞踏組曲 ほか

## 第19代札幌コンサートホール専属オルガニスト

マルタン・グレゴリウス [デビューリサイタル](#)

**日時** 2017年10月7日(土) 13:30 開場 14:00 開演 (15:30 終演予定)

**会場** [札幌コンサートホール Kitara](#) 大ホール

### プログラム

リュリ／マルタン・グレゴリウス編曲：バレエ音楽「町人貴族」組曲より 序曲  
トルコ人の儀式のための行進曲

スカラムーシュ・トラヴェランとアルルカンのシャコンヌ

J.S.バッハ：パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582

デュリュフレ：オルガン組曲 作品5より シシリエンヌ

スザンヌ・ファン・ソルトの写本より (作曲者不詳)：

シャンパーニュ風ブランル

無題

ブランル様式によるブラバンドのロンド

シューマン：ペダル・ピアノのためのスケッチ 作品58より

第3曲 いきいきと

第4曲 アレグレット

ロバートブリッジ写本より (作曲者不詳)：エスタンピー

マルタン・グレゴリウス：即興による舞踏組曲

### チケット

全席指定 (税込) 一般 1,000 円

U25 シート (1992 年以降生まれの方)・KitaraClub 会員・PMF フレンズ料金 500 円

〈後援〉 [北海道ポーランド文化協会](#)